



冬休み学習応援教室

子どもたちのやる気もいつも以上に高まって

船津小学校，小立小学校，北中学校，勝山中学校の4校で冬休み学習応援教室が開かれました。多くの子どもたちが寒さに負けずに学習に励みました。もちろん，しっかり感染対策を講じて行われていました。

冬休み学習応援教室は，町教育委員会が主催し，町教育センターが事務局を務めているものです。指導は，今回も各校に配置されている町費負担職員，ボランティアの退職教員，ボランティアの山梨大学の学生によって行われました。基本的には自分で持ってきた課題に取り組むことになっていますので，時間を無駄にすることなく進んで学習に向かう姿が見られました。わからないことがあると指導者に積極的に質問し，自分の課題を解決しようと努力していました。指導者の皆様が，一人一人に目を配りながら丁寧に指導・支援を行ってくださったので，子どもたちのやる気もいつも以上に高まっている様子でした。

集中して学習に取り組む子どもたち



指導してくださった皆様に心から感謝申し上げます

- ◎退職教員
 - ・希代修先生
 - ・古屋庄一先生
 - ・渡辺正利先生
 - ・渡邊恵美子先生
- ◎山梨大学学生
 - ・古谷大地さん
 - ・加々美琉宝さん
 - ・小山田楓蓮さん
 - ・新田理那さん
 - ・小山田貴輝さん
- ◎各校の町費負担職員の皆様

教職員のスタートアップ研修

タブレットを文房具と同様に

昨年度、町内の小中学校にタブレット端末が一斉に導入されました。これは文科省の掲げる「GIGA スクール構想」に基づいています。(下のコラム参照) この中でタブレット端末などの ICT 機器は文房具と同じ扱いだとされていますが、機器ですので、活用するためには時間をかけて習得していく必要があります。そして、それは教える側についても言えます。各校とも校内で研修をしたり、教職員は授業で使いながら学んだりしていますが、教職員のスキルアップを支援するために、町教育委員会もタブレット端末の研修を計画的



教職員のスタートアップ研修の様子

に実施していくことになりました。その手始めとして冬休み中に「スタートアップ研修」を行いました。グーグル合同会社より講師を招き、Classroom や Forms など 4 種類のアプリを使ってタブレットの操作を学びました。2 日間で延べ 98 名の教職員が参加しました。基本的な内容の中に新しい機能の紹介もあり、グーグルより豊富な資料の提供もありました。参加した教職員にとって学びの多い研修となりました。

児童生徒のタブレット端末の持ち帰りについては、町の情報教育研究会が中心となって各家庭の Wi-Fi 環境調査や端末の動作確認、持ち帰りのルール作りを進めています。今年度中には持ち帰りのできる環境を整え来年度には持ち帰りを可能とする予定です。



GIGA(ぎが)スクール構想(こうそう)とは？



文部科学省では、子どもたちに向けて、1人1台の端末をはじめICT環境の整備(せいび)を行っています。

社会のあらゆる場所でICTの活用が日常(にちじょう)のものとなっている今の時代を生きる子どもたちにとって、ICT端末(たんまつ)は鉛筆やノートと並ぶマストアイテムです。

インターネットなどを使って、何かを調べ議論(ぎろん)したり、良識(りょうしき)のある情報発信をしていくためのものです。

授業(じゅぎょう)の中で、わかる授業や魅力(みりょく)ある授業の実現(じつげん)に役立てていきます。

これまでの教育

× ICT

=

学習活動がより充実！
1人1人に合わせた教育
自分の考えを広げて深める教育

文部科学省では、全ての子どもたちの可能性を引き出し、質の高い学びの実現に向け、ICT環境の整備(せいび)を進めています ※文部科学省 HP より引用